

社会実験のふりかえり

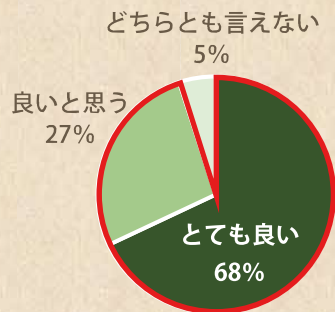
大藪先生からのコメント

本日、地域の皆さんと紫金山公園の魅力アップを目的として社会実験を実施しました。準備では、住民や関係者の協力を得ながら様々なアイデアや意見交換を行い進めました。その結果、想定以上の参加者を記録し、多くのポジティブなフィードバックを頂くことができました。一方で、さらなる周知活動や活動団体同士の横の連携の必要性があげられ、今後の社会実験における課題として浮かびあがりました。地域社会の抱える課題を解決するには、住民主体の活動と柔軟なサポート体制が不可欠であり、改善と発展を目指して公園の魅力アップに取り組んでいきたいと考えています。

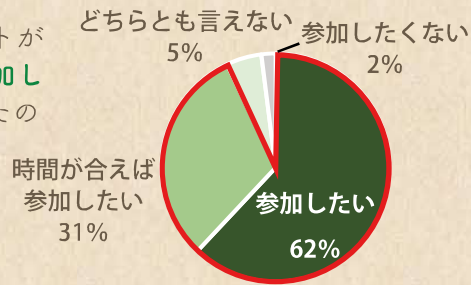


来場者アンケート (回答数: 85名)

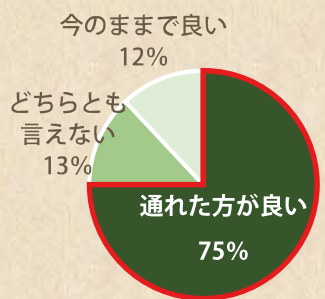
紫金山公園での今回のような取組みについては、「とても良い」「良いと思う」を合わせると95%になり、ほとんどの人が**良い取組み**と評価しています。



今回のようなイベントがあれば、93%の人が**参加したい**と答えており、またの開催が望まれています。



一日だけ開放した名神高速道路下を今後も**通れた方が良い**という意見が75%あり、多くの方が望まれていることが分かりました。



WS 参加メンバーの声

- ・スタンプラリーなどで公園全体の魅力を知ってもらえた。
- ・イベント全体を通して多世代での交流の場となっていた。
- ・参加者全員が前向きであったことが良かった。
- ・五月が丘地区の総合防災訓練とコラボできたのはよかった。
- ・行列を予想できず、さばききれなかった。
- ・一度きりの試みでは課題が見えてこないことが課題。
- ・神輿や東側の遊び場や田んぼなど紹介しきれなかった。
- ・学習や教育の視点でクイズラリーにしてもよい。
- ・レンタルスペース的なものがあれば自主的な活動や市民の交流も増えるのでは。
- ・新たにやってみたい！（キャンプ、野外コンサート、釣り大会）

意見募集掲示板

子供たちを中心にたくさんの意見をいただきました。



ブランコなどの遊具の充実やトイレの整備、ベンチの設置などの要望が多かったです。スタンプラリーが楽しかったなどの**良い評価**の感想も多くいただきました。

釈迦ヶ池に関する意見として、池の周りを整備し、鳥、魚などの身近な生物多様性の確保が望まれています。

今後の予定



第4回：令和7年 2月11日（火）14：00～

場所：吹田市立博物館 2F 講座室

第1回：令和5年 12月16日（土）10：00～

場所：吹田市立博物館

第2回：令和6年 2月18日（日）10：00～

場所：吹田市立博物館

第3回：令和6年 6月23日（日）14：00～

場所：吹田市立博物館

社会実験：令和6年 11月9日（土）10：00～

場所：紫金山公園



Instagram やってます！

【公式】紫金山公園

「みんなでつくる紫金山公園プロジェクト」



ご意見はこちらに
お寄せください！

発行：吹田市土木部公園みどり室（担当：姫井・福山）

TEL：06-6834-5364 mail：dousei-kouen@city.suita.osaka.jp

みんなでつくる 紫金山公園プロジェクト

第3回 ワークショップ & 紫金山 Mori Mori DAY 編

ワークショップ News Letter

第3回ワークショップについて

社会実験に向けて、「憩い・交流」「防災」「自然・歴史」の3つのテーマを設定し、グループに分かれて、目標や実施内容、役割分担、必要な準備などを話し合いました。

開催日時：令和6年6月23日（日）14：00～
開催場所：吹田市立博物館
参加人数：34名（うち、お子さん2名）

各グループの目標

【憩い・交流グループ】



- ①広く一般の方が参加できるものにする
- ②みんなが主人公、みんなでやってみる



【防災グループ】



- ①地域の防災意識を高める
- ②公園の特徴を活かす（紫金山公園だからできることをやる）



【自然・歴史グループ】



- ①知らない人に自然の良さ、今の活動を伝えていくことが必要
- ②将来につなげられる取組にする



大藪先生からのコメント

本日は社会実験へのキックオフとして議論をしていただきました。紫金山公園の多様な魅力を残していくことが重要で、多様な環境があるからこそ、憩いや里山保全の活動につなぐことができます。皆さんとこの公園で社会実験をしていく中でそのイメージを醸成させていきたいと思います。最終的には社会実験の結果を地域住民と共有して、公園の魅力アップにつなげていきたいと考えています。



社会実験に向けて、**「企画会」** 今後はグループ別で議論を深めていくを立ち上げ、議論を深めていくことになりました。その様子は次ページで紹介！



企画会から当日まで

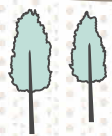
7/4(木)19時～
憩い・交流 G の企画会スタート!!



自然工作など
ほかのグループと
連携して同じ日に
やりたい!

みどりの会の活動日の
11月9日は
どうだろう?

昔懐かしい遊びも
やってみたい



自然・歴史 G は7/13(土)10時～
紫金山みどりの会の活動を見学後、
企画会スタート!



魅力マップづくりや
自然工作もやりたい!

7/25(木)19時～
防災 G の企画会スタート!



雨天時や体制のことも
考えないと!

11月9日は五月が丘地区の
防災訓練と重なるので、メン
バーからコラボ企画を提案!

7月～8月 社会実験イベントの愛称をメンバーに募集しました。

いろいろな取組が盛りだくさんの「盛り(Mori)」と紫金山公園の「森(Mori)」を意味する

『紫金山 MoriMoriDAY』に決定!



神社や土器、
大蛇伝説など
モチーフも盛り
だくさん!



8/29(木)自然・歴史 G 第3回企画会

魅力マップ案が完成!
メンバーから稲わらを使ったミニほうき作りの
提案にみんな賛成!



後日レクチャー

9/14(土)憩い・交流 G 第4回企画会

一部防災 G メンバーも入り、紫金山公園で
スウェーデントーチや火おこしの体験をやって
みました。



9/20(金)防災 G 第4回企画会

防災体験の当日のやり方などを相談しました。



伝統的な火起こしは、想像をはる
かに超える集中力と体力が必要!

オリジナルTシャツ 39枚作成

せっかくなので今後も着られるよう、ロゴにはある工夫を
しましたが、購入された方、気づきましたか?



10月 チラシを5000部印刷!
紫金山公園周辺の小中学校、公共施設や
近隣の自治会などに配布しました。

10/23(水)19時～全体会

当日に向けて、動きの確認や準備物など
活発に意見交換が行われました。



ペットボトルや新聞紙も
たくさん集めました。

11/4(月)憩い・交流 G 第5回企画会

公園で集めたスダジイを使って
「どんぐりクッキー」を作ってみました!



当日食べてもらうこと
はむずかしかったので、
展示で紹介!



紫金山 MoriMori DAY 当日!

11月9日(土)8時30分集合。快晴で気温も丁度
良く、最高のイベント日和でした。

五月が丘地区総合防災訓練とのコラボ実現に加え、
周辺地域や学校などへの案内を頑張ったこともあり、
想像を超える多くの方に来場いただきました。

メイン会場の北広場には朝から夕方まで、**延べ約
2,000人**が、各企画を体験しながら賑わいや憩いを
満喫しており、いつもとは違う公園の風景が見られ、
紫金山公園の持つポテンシャルを感じることができた
1日となりました。

体験・遊び・憩い(午後)



自然工作体験
待ち行列ができるほど大人気!

チョークでお絵かき
小さいお子さんに大人気!



スウェーデントーチ
無事に火がつき温まりました



ひみずき
火水木

岸二小学校6年生に
協力してもらい、遊
び方を分かりやすく
紹介!



チェアリング
椅子を使わず芝生でゴロゴロ
しました



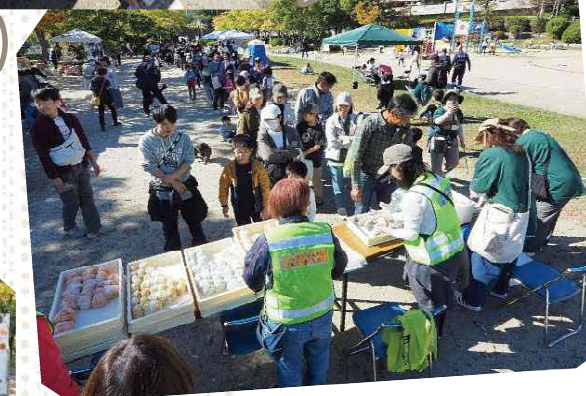
ドッグラン

ワンちゃんもストレス発散!?



キッチンカー

近所のお店が参加協力
紫金山カレーも考案、
販売!



スタンプラリー



午前中で400枚のスタンプシートが
無くなるほどの人気でした
豪華景品を目指して、紫金山公園を
1周、園内の新たな発見に繋がりました



景品を入れる
オリジナルトートバッグ!

参考資料4-1

防災体験(1回)

火起こし体験

みんなで協力して必死に
火起こしを頑張っていました



ろ過体験

砂や活性炭でにおいや色が
取れるか実験!



クッション作り体験

くつろげるよう人工芝も
張りました

炊き出し体験

美味しいおにぎりと焼き芋の炊
き出しに予想を超える大行列!



展示ブース

防災施設に関するパネルやマンホール
トイレ、魅力マップやどんぐりクッキー
をかわいく紹介



「みんなでつくる紫金山公園プロジェクト」と
「五月が丘地区防災委員会」のメンバー大集合!

みんなでつくる 紫金山公園プロジェクト

第4回
最終回

ワークショップ News Letter

第4回ワークショップについて

前回ワークショップに引き続き、「憩い・交流」「防災」「自然・歴史」の3つのグループに分かれて、「来年度の社会実験」「紫金山公園の目指すべき姿（案）」について話し合いました。

開催日時：令和7年2月11日（火・祝）14：00～
開催場所：吹田市立博物館
参加人数：26名（うち、お子さん2名）

来年度の社会実験

11月に実施した社会実験を踏まえて、地域の将来を見据えた視点で来年度の社会実験について考えてみました。

グループワークでの主な意見

社会実験での課題

- 事前調整や連絡方法での、参加者と事務局の間のズレがあった。
- 当日の役割分担が不十分だった。

学校との連携強化

- 市内の小・中・高・大学生を巻き込んだプログラムの検討。

防災・実践的な訓練

- 防災訓練やナイトキャンプ、星空観察などを取り入れて、リアルな体験の提供。
- かまどベンチのような実践的な訓練の場の設定。
- 伐採体験など南側を主にした実験検討。

自然

憩い

防災

生物多様性について

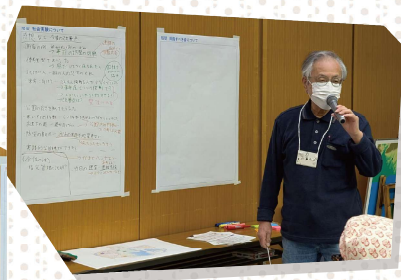
- 釈迦ヶ池の清掃・生物調査・釣り大会などを通じて、環境教育の機会を提供。
- 生物多様性をテーマにした「生き物を探す」プログラムの検討。
- 動植物の調査・観察、外来種の駆除。

整備について

- 名神下通行・バリアフリーなど公園周遊を促進。

教育的要素の強化

- クイズラリーのように、学びや楽しさを併せ持つプログラムの検討。
- 博物館を活用して、自然や歴史を学べる場所としての役割の強化。



参加者の声（ふりかえりシート抜粋）

▶ 1年間ありがとうございました。貴重な体験をさせていただき、子どもたちの楽しむ姿もたくさん見ることができました。

▶ お疲れ様でした。これで終わらず今後も継続して関わりを持つつもりです。この取り組みを通してみどりの会も成長することができました。

▶ いろんな世代の人と関われたのがよかったです。

▶ 知人に誘われ参加しました。終わりごろになってやっと面白さに気づいたところです。できればまた参加させていただきたいと考えています。

▶ 小学校や地域の防災とも連携してとても有意義なイベントをほぼボランティアで開催できた事はすばらしい事だと思う。

▶ ワークショップ後も、市独自で事を進めるのではなく、地元や関係団体への説明・意見聴取などを行っていただきたい。

▶ こどものワークショップもあればよかったなと思いました。

▶ 長期間にわたりワークショップ開催、ありがとうございました。意見集約の難しさを実感しました。今後も機会があれば一緒に考えていければと思います。

▶ 目指す姿は、“市民主体”の視点を忘れないでください。茨木市「おにクル」のように、市民のチカラを活用した都市公園の姿を紫金山で実現していきたい。

紫金山公園をテーマに「吹田クロス」も作ってもらいました



基本はロゴの左右に言葉を入れるだけ！



「吹田クロスロゴ」は吹田市が持つ様々な魅力を“掛け合わせる”ことで、新たなアイデアが生まれることを表現しています。



おやが

大藪先生からのコメント

今回のワークショップでは、次年度の社会実験や紫金山公園の目指すべき姿（案）について活発な議論が行われました。特に地域住民の主体的な関与、防災機能の強化、子供たちの意見の反映が重要であることが確認されました。

ワークショップは一旦解散となりますが、いただいた意見を精査し、次年度以降の社会実験や公園の将来像に活かしていくことが必要です。

また社会実験で得た成功体験を活かして、地域にとって魅力的な公園作りにみんなで取り組んでいければと思います。今後とも紫金山公園の発展にご理解とご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。



市の担当者からのコメント

1年以上にわたり、ワークショップにご参加いただき、ありがとうございました。ワークショップでは参加者の思いや、紫金山公園でやってみたいことなどを把握したうえで、市の考えや進めたい取組と合わせ、目標像などの方向性を「目指すべき姿」に盛り込む形で進めました。

至らない点もあったかと思いますが、目指すべき姿を多様な主体と共有しながら、引き続き、今後の再整備や管理手法の検討などに取り組んでまいります。

市民の皆様には引き続きご理解ご協力をお願いします！



Instagram やってます！
【公式】紫金山公園
「みんなでつくる紫金山公園プロジェクト」

ぜひフォローをお願いします!!



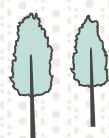
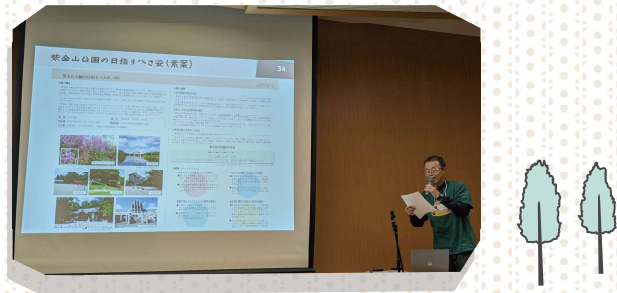
ご意見はこちらにお寄せください！

発行：吹田市土木部公園みどり室（担当：姫井、福山）

TEL：06-6834-5364 mail：dousei-kouen@city.suita.osaka.jp

紫金山公園の目指すべき姿について

市の担当者から案の内容を説明後、各グループに分かれ、足りない視点や、わかりやすい表現の工夫などについて、意見を出し合いました。主な意見は右の通りです。



紫金山公園の目指すべき姿（案）

抜粋

（注）第4回ワークショップ時点の内容です。

公園の課題

①自然環境や歴史の保全

紫金山公園は市街地の中で豊かな自然を感じられる貴重な空間となっています。2001年にはこれらの自然や歴史的な資源の保全、活用に向けた「吹田風土記の丘・紫金山公園基本計画」を市民参画により策定し、整備が行われてきました。計画の基本的な考え方や、これまでの取組を踏まえつつ、魅力を発信するデザイン力を高めたり、地域における生物多様性保全に知見のある民間事業者などとの連携など、新たな風を吹き込むことも必要です。

②安心・安全な利用環境の確保

紫金山公園は起伏に富み、市民ボランティアによる散策路整備など、健康づくりや身近で気軽に心身のリフレッシュが図れる場ですが、樹木が鬱蒼と茂っていて「近寄りづらい」と感じている利用者もいます。公園内の複数の広場が分断され、場所のわかりにくさ、移動のしづらさが感じられます。また、広域避難地であることから、防災機能のハード・ソフト両面からの充実が求められます。より多くの人が紫金山公園の魅力を感じることができるようするためには、安心・安全でわかりやすく、訪れたいくなる利用環境の確保やバリアフリー化、防災機能の向上が必要となります。

③市民活動の次世代への継承

現在園内では市民団体による環境保全活動が継続的に行われていますが、メンバーの減少なども見られるようになっていきます。将来にわたって紫金山公園の魅力を持続・向上させていくためには、現在の活動を次世代へと引き継ぎながら、市民による新たな活用を促し、市民、事業者、行政など、多様な主体が協働して公園を利用・管理する持続可能な仕組みを考えていくことが必要となります。



トイレの改修



ドッグランの設置



水辺の散策路整備



遊具の補修・更新



活動のPRチラシ

魅力向上にむけた理念

*Mori Mori 里山*Park*

「人 × 活動 × 交流 × 持続」

～つむいでめぐるってまざってつづける 吹田の真ん中 紫金山！

※ここで言う里山とは、紫金山公園の象徴的な樹種であるコバノミツバツツジに日の光が当たるよう、定期的に常緑樹の間引きなどを実施し、明るい樹林地が形成・維持されるような自然環境

目標像（パークビジョン）

個性と活力のある都市づくりを実現！

- 国の史跡や博物館、里山など他にはない特徴を、市民など多様な主体とともに、デザインや様々なツールで発信していきます。
- 北側と南側の周遊性を高める、利用者がそれぞれ異なる地形や特徴を楽しみ健康づくりに活かすなど、Well-being に貢献できる公園を目指します。

災害に対してレジリエントな都市を形成！

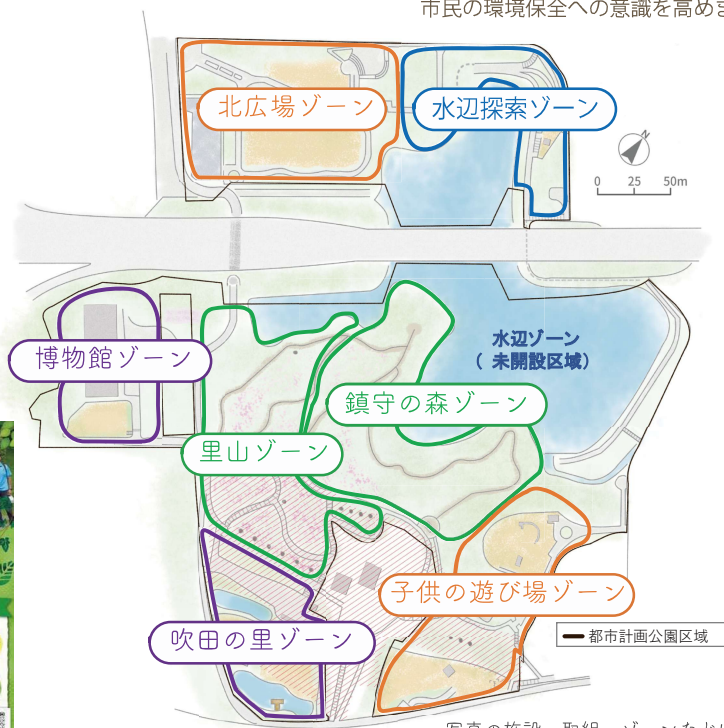
- 災害時に活用できる施設や、グリーンインフラの持つ延焼防止や雨水貯留など多様な機能を活用できる公園を目指します。
- 平常時からイベント利用などを通じて、災害時の対応につながるような、防災コミュニティ形成の場を目指します。

つながりを実感できる暮らしを実現！

- 自然環境保全や環境学習を始めとする市民活動が継続できるよう取り組み、公園協議会の設置など多様な主体が参画する公園を目指します。
- 地域に受け入れられるイベントなどを通じて、異なる世代や分野で活動する市民が交流し、新たなつながりが生まれる機会を創出します。

生き物や環境と共生する都市を形成！

- 都市地域に残る貴重な自然として保全活動に取り組む中で、市民団体と連携し、自然共生サイトへの登録や、民間事業者とのマッチングなど、ネイチャーポジティブの実現、地域の生物多様性向上に貢献する空間を創出します。
- 市民が自然に触れることができる空間として活用し、地域の自然環境の重要性を発信するとともに、市民の環境保全への意識を高めます。



写真の施設、取組、ゾーンなどはイメージであり、決定した事業計画ではありません。また、ゾーンの全範囲で展開するものではありません。

グループワークでの主な意見

自然、生き物環境について

- 自然を残す公園であり、吹田市の生物多様性の拠点と位置づけてはどうか。
- 紫金山みどりの会が環境省の「自然共生サイト」へ登録準備中。きちんとした管理と調査が必要。
- 環境教育の場として活用できるようになればよい。
- 昔はカモなどが多かったので、野鳥が来やすい整備ができないか。（釣り人立入禁止、池の中に島設置など）
- 特定外来生物の駆除などの対応が位置づけできないか。（ザリガニ、ブルーギルなど）
- 市民と協力して生き物調査を実施してはどうか。

情報発信や、意見を聞く場、方法について

- 紙媒体や市ホームページでの情報発信は弱い。
- パブコメの情報発信に対する取り組みを考えてほしい。
- ◇公園内や公民館にQRコードを設置
- ◇児童センターや赤ちゃん検診などのシーンで子育て層の声を取り入れる
- ◇学校など通じて地域の子どもたちの意見を聞く
- ◇Instagramでもパブコメを募集
- 自然環境や保全活動についての理解
紫金山公園の魅力を向上させるために、わかりやすい表現で情報を発信し、地域の人々や訪れる人々に参加を呼びかけることが重要。

目指すべき姿（案）の内容について

- カタカナや専門用語（例えば「レジリエント」）については、一般の人々にも分かりやすく表現すべき。
- 民間事業者に関してはもっと議論を深める必要がある。
- 釈迦ヶ池、博物館との連携は非常に重要だが、ワークショップではあまり意見を出せていない。
- 具体的な事例の写真を掲載してもよいのか。
- パークビジョンの「都市を形成」という表現は分かりにくい。
- 生物多様性に知見のある事業者はいるのか。

参考資料4-1



今後の整備について

- もっとバリアフリー化すべき。
- 池を周遊できるようにしてほしい。
- ドッグランの設置。
- ステージの整備や発表の場づくり。（音楽、自然との調和）
- 階段への手すりの整備。
- 広域避難地として、広場には最小限の施設設置に留めるべき。
- ビクターセンターの計画は今後も重要な役割を果たすべき。
- 運動・スポーツが行える環境の整備。
- おむつ替えや授乳スペースの確保。
- 自販機がほしい。



自然



憩い

今後の管理運営について

- 市民協働による公園づくりが重要。
- 指定管理者には市民と意見交換ができる団体を。
- 既存の活動団体や今後活動したい団体を含めた協議会を発足してほしい。
- 公園使用料をおさめてもらい、公園を整備している団体に還元しては。
- 事業者の利益だけではなく、公園管理を重視。
- 小学校・地域との連携。
- 継続的なイベント開催。

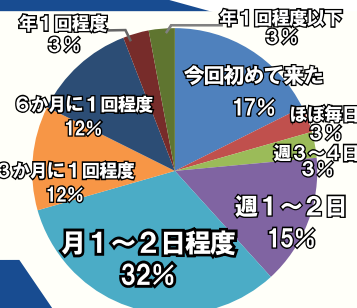


社会実験アンケート結果

今回の社会実験の取組に関するアンケート調査を行いました。
以下では、結果を一部抜粋して記載します。
実施方法：Web アンケート、紙でのアンケートを併用 回答数：35 件

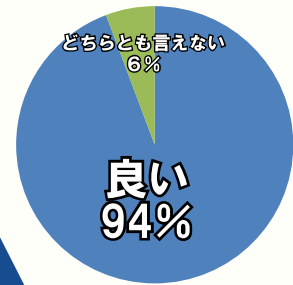
紫金山公園に来たことはありますか？

「月1～2回程度」が最も多い回答で、次いで、「今回初めて来た」が多い回答でした。
普段あまり紫金山公園を利用しない人たちへ、効果的なアプローチができています。



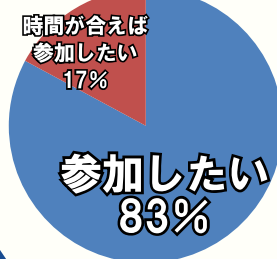
紫金山公園でのこのような取組について、どう思いますか？

良いという回答が9割以上を占めており、紫金山公園での社会実験イベントを肯定的に捉えていただけました。



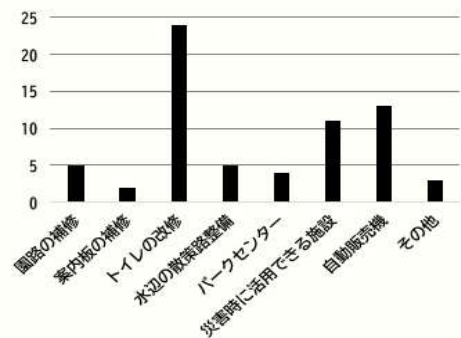
今回のようなイベントがあれば参加したいと思いますか？

今後も参加したい旨の回答が多数を占めており、この取り組みに対する継続的な開催に関する需要が伺えました。



紫金山公園に必要と思うものを教えてください。（複数回答可能）

トイレの改修が最も求められている点で、次点で自動販売機や、災害時に利用できる施設の整備が求められていました。



回答	数	割合
園路の補修	5	15%
案内板の補修	2	6%
トイレの改修	24	71%
水辺の散策路整備	5	15%
パークセンター	4	12%
災害時に活用できる施設	11	32%
自動販売機	13	38%
その他	3	9%
合計	67	

大藪先生からのコメント

「紫金山 MoriMoriDAY2025」はみんなで公園をどう使うかを考える社会実験として実施しました。マルシェやステージ、非常時の利用を想定した防災ブースなど、多様な取組を通して、世代や立場を越えた交流が生まれ、紫金山公園の新たな可能性を実感する一日となりました。ご協力いただいた地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

担当者からのコメント

当日は天気も良く、絶好のイベント日和でした！地域の協力を得て、沢山の人が集まってくれました！！今後も、地域と一丸となって紫金山公園の魅力向上に取り組めたら嬉しいです！

みんなで作るマルシェ 出展者の声

みなさんが協力し合い作り上げた感じがあって温かいマルシェだと思いました！

楽しかった。

思った以上にお客様が来てくれて楽しかったです！

老若男女みんなが楽しめるイベントでほのぼのしていたのが良かったです。

楽しかったのが半分、段取りがあまり良くなかったのが半分です。

人工芝ステージ 出演者の声

次回があればもっと地域の方に周知していただき、たくさんの方に来場して頂きたいなと思いました。

お天気もよく、気持ちのよいステージになりました。

会場自体アットホームで心地よく、お客様やスタッフの皆様の暖かさに感動いたしました。

出演者の休憩場所などもあれば良いかな。

良いステージでまた是非出演させて頂きたいと強く思いました。

紫金山公園魅力向上事業

参考資料 4 - 1

紫金山 MoriMoriDAY 2025

News Letter



11月16日（日）、紫金山公園北側広場を中心に、「紫金山 MoriMoriDAY2025」を実施しました！

地域の人たちをはじめ、多様な主体と協力し、自分の特技の発表や、多世代と交流する場としてマルシェやステージ等、様々な取組を行いました。多くの人にご来場いただき、来場者は延べ人数で約1400人！紫金山公園や、周囲に住む人たち、協力してくれた学生たちのポテンシャルの高さを感じる一日となりました。

MoriMoriDAYって何？

令和6年から始まった、紫金山公園の社会実験！公園の新たな活用方法の検討や、再整備についてのニーズ把握、公園の持つ魅力の新たな周知方法の検討等が目的です。

当日に向けて

やったことがある人も、やったことがない人も！みんなで公園マルシェをつくりあげよう！



マルシェに出展してみたい！という人たちとともに、交流会を行いました。



紫金山公園がどうなったらうれしいかな？「こうなればいいな」を考えて、作ってみよう！

東佐井寺小学校には将来像（子供版目指すべき姿）を描いてもらいました！



実際に作って、使ってもらって、効果をみてみよう！

1日だけではなく、長期に渡ってドッグランを設置したり、名神下を開放したり、再整備の可能性を探りました！

開催概要

実施場所

紫金山公園北側広場（五月が丘東地内）

実施日時

令和7年11月16日（日）11時から16時まで

来場者数

延べ 1,400 名

お問い合わせはこちらにお寄せください！

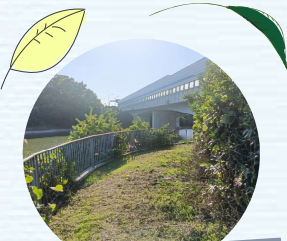
当日の様子

参考資料 4 - 1

紫金山公園の中で、様々な取組を試してみる「社会実験」。今年もいろんな取組がMoriMori! 昨年度のワークショップで公園の魅力として挙げられた「憩い・交流」、「防災」、「自然・歴史」の観点を引き継ぎながら、公園の新たな可能性を検証しました。



集合写真を撮ってスタート!



名神下開通

MoriMoriDAY2025
メイン会場

長期取組

ドッグラン

謎解き想定ルート

ドッグラン
名神下開放期間
11月5日(水)
~
11月16日(日)



市民参画による賑わい創出を検証!

みんなで作るマルシェ



憩いの場所の可能性を検証!

仮パークセンター運営

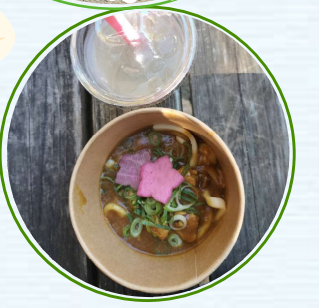


紫金山の歴史について楽しく学ぼう!

謎解きスタンプラリー



キッチンカーも
登場!!



使われていない広場をどう活かせるか?

リラクゼーションエリア



産官学連携も実施!

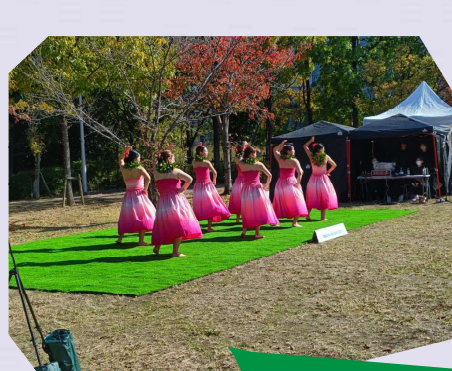
ブースの企画・運営に協力してくださった団体と、その内容を一部ご紹介!

CAT MUSIC COLLEGE
キャットミュージックカレッジ
専門学校

be-S Co., Ltd.
ビーズ株式会社

大阪成蹊大学

東佐井寺小学校



人工芝ステージ



学生自らステージを
運営!
音楽イベント実施の
可能性や、発表の場の
ニーズを把握しました!



ピザ窯体験講座

プレイエリア設置



テント設営体験



紫金山広報隊!

ビーズ株式会社と防災ブースを運営! アルミホイールと段ボールで窯を作ってピザを焼いて食べてみたり、テントの設営を体験できました! また、広報の体験や、プレイエリアの設置などにより、公園の今後の可能性を確認できました!



マルチスポーツ体験

白井准教授のゼミ生たちが
ビックルボールや
キンボールなど、
話題のスポーツを
体験できるブースを運営!

公園におけるスポーツの
新しい可能性を
発見しました。



子供版目指すべき姿を掲示!

東佐井寺小学校3年生が描いてくれた、
紫金山公園の将来像
(子供版目指すべき姿)を、掲示しました!
公園の未来について、
しっかりと考えてくれました!